## 道教大付属釧路小の栄養教諭

# 久保田さん大臣表彰

### 給食に工夫、功労評価

表彰状を手にする道教大付属釧路小の久保田桂子栄養教諭

道教大付属釧路小の栄養教諭、久保田桂子さん(60)が、本年度の「学校給食功労者」として文部科学大臣表彰を受けた。釧根管内で個人として同表彰を受けたのは初めて。食物アレルギー対応や工夫を凝らした献立などが評価され、久保田さんは「私一人の力ではなく、調理員など周囲の支えがあったおかげ」と感謝している。

同表彰は、学校給食の充実などに尽力した全国の個人、団体に毎年贈られる。本年度は全国23人（団体は該当なし）、道内から久保田さんら2人が選ばれ、10月末に表彰された。

久保田さんは1974年から約40年間、同校に勤務。87年からは当時珍しかった食物アレルギー対応の給食をいち早く始めた。献立にもこだわり、児童の保護者から作り方を聞かれることもあったという。バイキング給食も20年前から続け、児童に食の楽しさ、大切さを伝えてきた。

来年3月で同校を定年退職する久保田さん。「一人一人を大切にする給食を心掛けてきた。卒業しても給食の味を思い出してくれたらうれしいですね」と笑顔を見せた。（俵積田雅史）

# アイヌ文化やタンチョウ取材

### ロシア紙の担当編集長来釧

丹頂鶴自然公園で担当職員から説明を受けるエゴール氏（中央）とアナ氏（右）

ロシア主要紙「コメルサント」の旅行紙面の編集長エゴール・アポロノフ氏が釧路市を訪れ、7、8の両日、阿寒湖温泉や釧路市丹頂鶴自然公園などの観光地を巡った。

海外メディアを招き、自国で日本の観光をPRしてもらう観光庁による「ビジットジャパン事業」の一環。エゴール氏は7日に東京経由で釧路入りし、イギリスの旅行雑誌のロシア語版を編集する妻のアナ氏も同行。観光庁の観光立国推進有識者会議の石井至委員（釧路市出身）と市職員が案内した。

阿寒湖温泉では、自然景観やアイヌコタンでの木彫作品を見学。丹頂鶴自然公園では、担当職員からタンチョウの餌や習性などの説明を受けた。

釧路の印象についてエゴール氏は「タンチョウは日本のシンボルの一つ。理解を深められました。阿寒湖のアイヌ文化の木彫は、ロシアでも人気が出ると思います」と好感を持った様子。「（釧路を）紙面で喜んで紹介したい」と述べた。

エゴール氏は9日に釧路から東京を経て沖縄県石垣島へ移動。九州、関西地方などを巡り、24日にモスクワへ帰る予定。（桜井則彦）

## 北海道新聞見学

（8日・釧路工場）▽浜中町・散布小5年生＝斉藤忍校長ら9人▽釧路市・阿寒湖小3年生＝磯部香里教諭ら16人

## 気ままに散歩 ㉘

はカラシナ

近隣の小学校を訪ね、ふるさとるた交流会への参加を依頼する路短大の学生